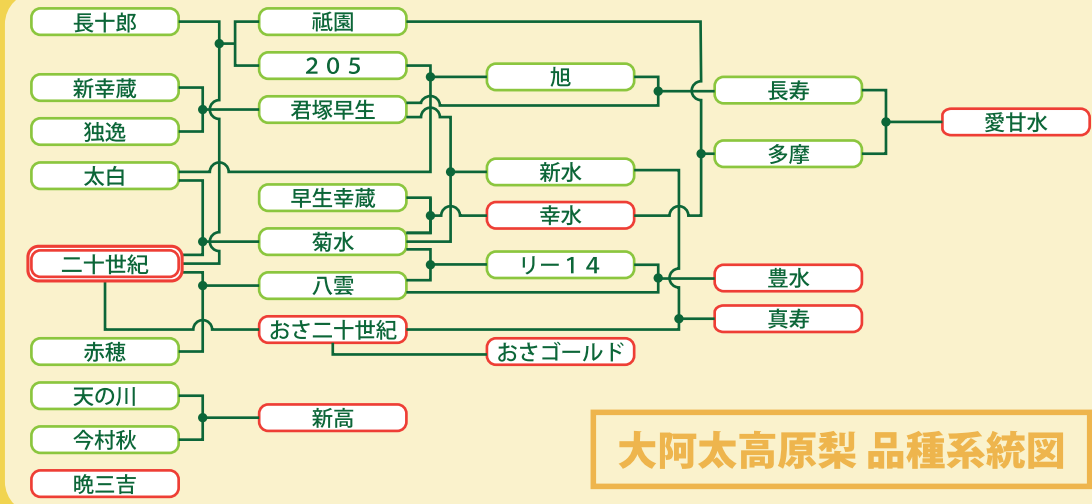


にじゅっせいきなし

大阿太高原の廿世紀梨

100年の伝統が次の100年を創る

約110年あまり前の1902年（明治35年）、廿世紀梨の発祥地千葉県松戸市から穂木を取り寄せ、接ぎ木したのが始まりで現在に至っています。先人たちは、失敗に失敗を重ねてここまで栽培方法を完成させてくれました。この梨は、味、香り、食感、形など他の品種と比較にならないほど独特の魅力がありますが、栽培が難しく初期は大変苦勞をしたようです。私たちは、この大阿太高原で、廿世紀梨を中心に今後100年を目指して梨づくりを続けます。



二十世紀梨は、明治21年千葉県松戸市で松戸覚之助によって発見された偶発実生です。当時13歳の覚之助少年が分家宅に立ち寄った帰り道、塵捨て場に小さい梨の苗木があるのを見つけ興味を持ったのです。叔父に話をし梨の苗木を譲り受け、父が経営する果樹園で栽培を試みたのです。試行錯誤の末、明治31年9月中旬に初めて成熟した梨の果実を手に入れることができました。この梨の実は上品な甘さとしたるほどの水気をもっており、従来のどの品種よりも優れていると思った覚之助は、農業分野に力のある人たちに梨を贈り、この梨の地位を確かなものにしたのでした。

共生意識

大阿太高原梨の販売は、組合員がお客様と直接行っていますが、栽培技術の研究、病害虫鳥獣被害対策や、大阿太高原全域に送水しているかんがい用水施設の維持管理など、産地を守る取り組みは100年間協力して行ってきました。現在も、組合員同士が梨づくりを中心に、共生の心を大切にしています。

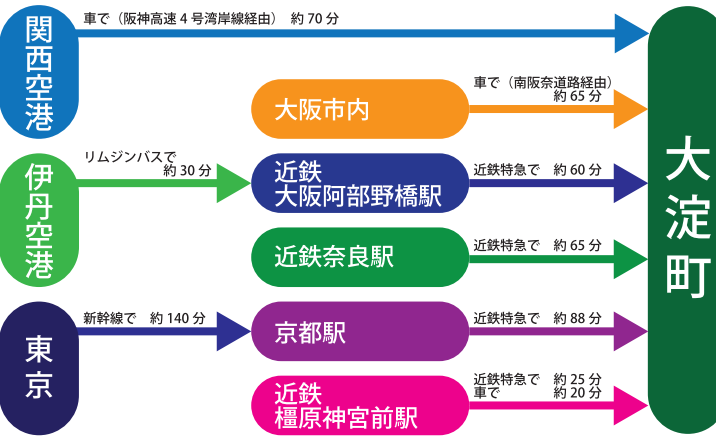
自分に合った梨の味を探してみませんか？

各梨園では、園主がこだわりの栽培技術で梨づくりを行っています。そのため、同じ梨でも各園で微妙に味が異なります。各梨園を訪問し園主のこだわりを聞き出してください。自分に合った梨（園主のこだわり）を探して、あなたに合った、ピッタリの梨に出会えると思います。

「収穫スケジュール」 ※年によって変動があります。

早生梨	→	7月末	～	8月末
廿世紀梨	→	9月始め	～	10月中旬
晩生種	→	10月始め	～	12月初旬

大阿太高原 アクセス マップ



掲載している内容は平成28年8月現在の情報です